

義経北行伝説研究家

山崎純醒さん（新 27 回生）の横顔



本名・山崎稲造。昭和 31 年岩手県山田町生まれ
盛岡市立厨川中学校を経て岩手高校入学、昭和 50 年卒業。
東京経済大学を卒業して出版社入社。会社員時代からエッセーを雑誌などに寄稿。
40 歳で脱サラし、東北の古代・中世史研究を本格的に開始する。
平成 23 年、源義経の北行伝説を研究する団体「義経夢の会」を設立し、会長。
平成 28 年、『義経北紀行伝説』『源義経周辺系図解説』を出版（批評社）。

岩高時代は剣道部

岩高時代は剣道部に所属し、主将を務めた。ちなみに在学中の担任教師は、後に校長に就任した西在家寛先生。

その剣道部は当時、盛岡地区団体戦で 11 年連続優勝という輝かしい戦績を残していた。ところがある年、団体戦準決勝で敗退。「岩高剣道部の輝かしい歴史に傷を付けた張本人」（本人談）と明かす大らかな一面も。剣道 3 段、居合道初段。

趣味は切手収集、海釣り、カードマジックなど。このほか姓名科学鑑定協会師範の顔も持つ。

63 歳。現在は岩手県紫波町在住。

気になる日常生活や性格は、「夜行性」「品行不良」などと自己申告するも「人畜無害」とかで、ご安心を。

（作成・新 24 回生 武田）

<講師>

やまざき しゅんせい
山崎 純醒 氏



<プロフィール>

歴史ドキュメンタリー作家，エッセイスト，詩人，
コラムニスト，フィラテリスト

30代の時，サラリーマンの傍ら，フリーライターとして文芸誌や趣味誌などに文芸評論，科学コラム，歴史エッセイ，短編小説などを寄稿する。40歳でサラリーマンを退職し，各誌に連載記事を掲載するなど，プロとして執筆活動に専念する。

テーマは，自然科学，ことばと言霊，旅と人生，生活の中の仏教思想，氏姓と家紋，姓名と運命，郵趣雑感寸話茶話，歴史人物裏話，詩の愉しみ方など，ジャンルを問わず精力的に執筆している。

詩人，歌人としても作品群がある。特に詩は10歳から書き始め，故西一友氏に師事し三冊の詩集を出版。現在も自分史をテーマに社会にモノ申す作品を書き続けている。歴史ものは主に古代史から中世史までを専門とし，豊富な知識を活用しドキュメンタリータッチで描くことを得意としている。

大江健三郎，小中陽太郎両氏の推挙により，平成15年から25年の10年間，日本ペンクラブ正会員として在籍する。現在，『義経北紀行伝説』（全5巻）を執筆中である。

詩創作塾「ぺっこの会」主宰，企画文芸集団「夢詩芽画音」代表，ヒューマンネットワークNP0「ONEWORLD」代表理事，いわて異業種啓発懇談会代表幹事，いわて賢人会議事務局長，もりおかYY塾代表世話人，言霊姓名科学研究所所長，源義経ファンクラブ副会長兼歴史活動委員会東北クラブ会長。

平成21年，日本唯一の義経北行伝説を専門に研究する団体「義経夢の会」を設立し，事務局長，特別顧問を経て，平成25年，会長に就任する。

日本古代史研究会会員，日本エッセイスト協会会員，日本詩人会議会員，日本レクリエーション協会会員，日本郵趣協会会員，日本スカウト切手協会会員

昭和31年，岩手県山田町で生まれ，現在，紫波町に在住。